

6つの島をめぐるって、冒険の旅に出よう！



兄はきっと金の扉の向こうにいる・・・！

『勇者ライと3つの扉 金の扉』 エミリー・ロッド／著
岡田 好恵／訳 緑川 美帆／イラスト KADOKAWA



巨大な壁で守られた街・ウェルド。しかし、外壁を越えて飛来する怪鳥に苦しめられていた。怪鳥を撃退するため壁の外に出ることを志願した者は、3つの扉から1つを選ばなくてはならない。先に志願者となった兄を助けるため、ライも扉を選ぶとするが・・・。

スタート



さあ、冒険の旅へ！

おすすめの本を読んで
ゴールを目指そう！
をたどって進んでね。

孤独な少女のダークファンタジーシリーズ

『ペギー・スー 魔法の瞳をもつ少女』

セルジュ・ブリュノロ／著 金子 ゆき子／訳 KADOKAWA



ある日、町の上空に現れた青い太陽。その光を浴びると一時的に知能が上がったが、日光浴を続けた者の脳が自壊する事件が頻発する。市民が日光を避けて生活するようになった一方で、野外に繋がれた家畜たちには人間並みの知能とテレパシー能力が発現して・・・。

行ってみたい、不思議な骨董品屋さん！

『銀杏堂』 橋 春香／作・絵 偕成社



主人公レンちゃんが見つけたのは、店主の高田さんが各地で集めてきた自慢のお宝たちが並ぶ「銀杏堂」。2人の心地よいやりとりと高田さんの語る、それぞれの品にまつわる冒険ストーリーに夢中になります。著者による鮮やかな絵も物語の世界を広げてくれます。

日本人によるノンフィクション漂流小説

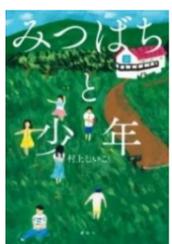
『無人島に生きる十六人』 須川 邦彦／著 新潮社



明治31年、帆船が難破し無人島に漂着した16人の男たち。水と火の確保から、見張りやぐらの建設、塩やインキまで生活に必要なものは何でも一から作らなければならない。どれほど困難な状況にあっても、彼らは日本への帰国を信じ続けた。

「ぼくの場合、言葉がさ、勝手に跳びはねちゃうんだ」

『みつばちと少年』 村上 しいこ／著 講談社



思ったことをすぐ口にしてしまう雅也は、まわりの人から引かれてしまい、いつもひとりぼっち。中1の夏休み、愛読書『みつばちマーヤの冒険』を携えて、養蜂場で働くおじさんがいる北海道へ向かう。そこでの出会いは、雅也を変え、忘れられない夏になる。

どんなことが待ち受けようと真実を書き残す

『ネバーブルーの伝説』 日向 理恵子／著 KADOKAWA



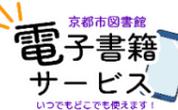
写本士見習いのコボルは、任務先である真実を知ってしまう。それは、写本士にとって衝撃的なもので・・・。幻のインクでその真実を書き残すことにしたコボルは旅に出る。口のきけないコボルが、唯一話せる少女と立ち上がる姿に心動かされます。

ゴール、おめでとう！

冒険の旅は
楽しかったかな？



ここで、ちょっと休憩！



図書館カードとパスワードがあれば、
タブレット・スマートフォンから
電子書籍が読めるよ！

↓くわしくはウェブサイトを確認してね↓
<https://web.d-library.jp/kyotocity/>



ここで使用している画像は、出版社の許可を得て掲載しています。

(公財) 京都市生涯学習振興財団 京都市左京図書館
住所 〒606-8103 京都市左京区高野西開町5
電話番号 075-722-4032
開館時間 平日 午前9時30分～午後7時
土・日・祝 午前9時30分～午後5時

(公財) 京都市生涯学習振興財団 京都市岩倉図書館
住所 〒606-0013 京都市左京区岩倉下在地町16
電話番号 075-702-8510
開館時間 月・水・金・土・日・祝 午前9時30分～午後5時
木 午前11時30分～午後7時

休館日 毎週火曜日（火曜日が祝日のときはその翌平日）
図書特別整理期間
（左京図書館は2月5日～2月7日まで、岩倉図書館は2月26日～2月28日まで臨時休館します。）
年末年始